

## 山下和洋社長



介護保険制度の改正により、2018年は8月からは現役並み所得者は3割負担に、そして10月からは福祉用具貸与の全国平均価格の公表や上限設定の仕組みが始まる。

貸与価格の上限については、おおむね1年に1度の頻度で見直しが行われるので、開始から2年目は、確実に大きなインパクトを与えることが想定される。

そして、3年目からが本当の意味での福祉用具の価格とサービスのバランスを、お客様が選んでいく時代が訪れるであろう。

よって、今まで以上に社内の生産性を高めていくことが重要になってくる。具体的には、社員一人当たりのできることを増やし、社内の制度を変え、社内の風土を変え、事業構造を見直すことなどが必要である。

同時に、国の方針でもある

# 生産性を徹底的に高めていく

## ヤマシタコーポレーション

「働き方改革」を進めていくことが大事だと考えている。分かりやすい指標は労働時間になるが、わが社では月によってバラツキはあるものの、概ね20〜25時間程度で月の時間外労働が推移している。

また、年間の休日数についても120日以上を確保している。

一方で、売上は昨年度214億円となっており、市場の成長以上の伸びを続けている。制度改正により、経営環境が厳しくなる中で、売上・利益双方を伸ばしながら、社員のワークライフバランスも考える。この難しい問いを解く答えの一つが、生産性を徹底的に高めていくと考えている。

弊社の企業理念は「正しく生きる、豊かに生きる」である。社員の豊かさがあって、顧客の豊かさも実現できる。容易に実現できる事ではないが、そこを大切に、採用後の人材育成などにも注力し、本年も更なる充実を図りたい。

この業界は人が全てだ。社員とお客様の双方から選ばれた企業を目指し、日々の経営に取組んでいきたい。